

巻頭言

東日本交流拠点・さいたま市

～イノベーションする都市を目指して～



さいたま市経済局長

千枝 直人

Chieda Naoto

さて、現在、我々が直面している様々な社会課題には、多くのビジネスチャンスが隠れていると言われております。市政における社会課題の解決についても、まちづくりや教育・福祉・文化・スポーツなど様々な部門が、産業、経済との連携を視野に、企業とイノベーションすることが求められてきております。

幸い本市には、独創性・革新性に優れた技術を有する研究開発型ものづくり企業が数多く集積しております。これら企業の「技術力」は、世界に誇る「グローバルニッチトップ」であり、本市を代表する「リーディングエッジ企業」として、本市産業全体の活性化やイメージアップに寄与していただいております。

しかし、技術力だけでは社会課題を解決することは難しく、求められているイノベーションを活かすには、埼玉大学に代表される、高度な研究施設を有する「地(知)の拠点」である「学」との連携が必要不可欠であり、産学官連携の中にもこそ答えがあると強く感じております。そのため、行政の役割としては、企業と企業をつなぎ、大学との連携による新たな技術の創出に寄与するための支援事業の創出に努めていきたいと考えております。

埼玉大学産学官連携協議会会員の皆様におかれましては、埼玉大学との「イノベーション」を推進するきっかけとして、ひいては地方創生・地域活性化に寄与するものとして、当市施策や事業をご活用いただけますと幸いです。

6 新幹線の結節点である大宮駅を擁する本市は、東日本と首都圏を結ぶ「東日本の玄関口」としての役割だけでなく、東日本地域全体の地方創生・地域活性化を推進する「東日本交流拠点」を目指し、活発な施策展開を行っております。

本年3月には、東日本地域の交流・発信・活性化を促す地方創生の場として、大宮駅東口に「まるまるひがしにほん」をオープンしました。1階は各地の魅力を伝えるシティプロモーション、2階は東日本各地の企業が商談を行えるビジネス交流サロンとして、相互に連携した機能を持つことにより、首都圏における地方創生ビジネスの一大情報発信拠点として皆様に利用してもらえるよう取り組んでおります。

CONTENTS >>>

- 01 巻頭言
- 02 活動報告 「第20回定期総会」
- 04 活動報告 防災ビジネス研究会、アブラヤシバイオマス利活用研究会、AI時代の画像処理技術研究会
- 05 活動報告 創エネ・蓄エネ技術研究会、AI活用研究会
- 06 会員企業訪問記 「株式会社オリジン」「株式会社タムロン」
- 08 新会員紹介
- 10 活動報告 「3D-CAD&3Dプリンター研修」「イノベーション・ジャパン2019」
- 11 大学取組紹介 埼玉大学学務部学生支援課「就職支援担当」
- 12 オープンイノベーションセンター産学官連携活動カレンダー



活動報告

Report

01

第20回 定期総会、産学官連携事例発表、交流会

埼 玉大学産学官連携協議会では、2019年6月7日(金) コミュニティプラザ・コルソ7階コルソホールにおいて、第20回定期総会(第1部)、産学官連携事例発表(第2部)及び交流会(第3部)を開催しました。協議会会員を中心に例年を大きく上回る180名を超える方に参加いただきました。

第1部定期総会では、上條正仁会長の挨拶にはじまり、続いてご来賓を代表して、五十嵐悟関東経済産業局地域経済部次長、加藤和男埼玉県産業労働部長からご祝辞を頂戴しました。引き続き、山口宏樹埼玉大学長より挨拶がありました。総会開催定足数の確認後、上條会長が議長となり議事を進行し、平成30年度事業報告案及び決算報告案、



会長挨拶
(上條会長)

来賓祝辞
(関東経済産業局地域経済部/
五十嵐次長)



第2部 特別講演

2019年度事業計画案及び予算案、役員交代について、それぞれ報告及び提案があり、原案通り承認されました。平成30年度は総会員数が20企業・団体以上増加するなど、埼玉大学および本協議会へ寄せられる期待の高さを見ることができます。



来賓祝辞
(埼玉県産業労働部/加藤部長)

学長挨拶
(埼玉大学/山口学長)

2019年度事業計画案及び予算案では、本協議会の更なる活動充実を目的に各種提案を行い、満場一致で承認されました。

第2部の産学官連携事例発表は、最初に、日本生命保険相互会社相談役/一般財団法人埼玉県人会会長/一般社団法人日本経済団体連合会元副会長の岡本圀衛氏より『「埼玉県への思い」と「生命保険事業経営を通じて感じた世の中の変化」』と題した特別講演をいただきました。埼玉県とのかかわりから始まり、世の中の変化、日本が抱える構造的課題についてのお話があり、最後は大学への期待について、本協議会総会節目の第20回に相応しい講演が行われました。

続いて、大学院人文社会科学研究所 大石直樹准教授より「企業と社会の関係を問直す -近代化150年を迎えて-」、工学部長 黒川秀樹教授より「最も単純な高分子、ポリエチレンの限界をめざして」と題して、研究トピックスおよび産学官連



第1部 定期総会



特別講演
(日本生命保険相互会社/
岡本相談役)

研究トピックス紹介
(大石准教授)

携事例の紹介が行われました。大石准教授の研究トピックス紹介では、日本資本主義の父と呼ばれた渋沢栄一を例にとり、社会における企業・起業家の役割、企業利益と公益との関係性など、企業が社会を変えらるという主体的行動の重要性について講演が行われました。黒川教授の産学官連携事例紹介では、ポリエチレンを使用した有機金属錯体の固定化について、コストや強度低下等の課題解決に向け、民間企業との共同研究を通じ、より高性能な触媒開発に取り組む様子が紹介されました。

また、重原孝臣理事・副学長より「埼玉大学の教育活動のご紹介 - 産



産学官連携事例紹介
(黒川工学部長)



産学官連携取組紹介
(重原理事・副学長)

学官連携の取組を中心に」と題して、工学部の改組や新たな教育プログラムの取組等について紹介が行われました。本内容には、参加いただいた方からもイノベーション人材育成の観点から、大学ならではの時流

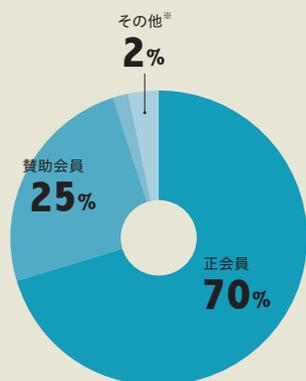
に合った教育活動であるとのご意見をいただきました。

第3部の交流会にも引き続き多くの方に参加いただきました。埼玉県産業技術総合センター長 中村雅範運営委員による乾杯の挨拶があった後、埼玉大学ブランドの日本酒「鳳翔閣」が供され、講演者や参加者の間で活発な交流が行われました。2019年度は埼玉大学創立70周年および協議会設立20年目の節目の年となります。引き続き、協議会活動の充実に努めてまいります。



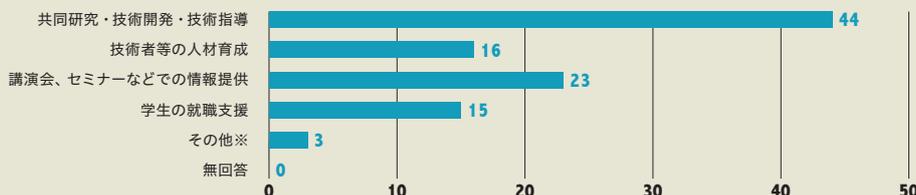
第3部交流会(懇親会)

Q1 会員種別について教えてください。



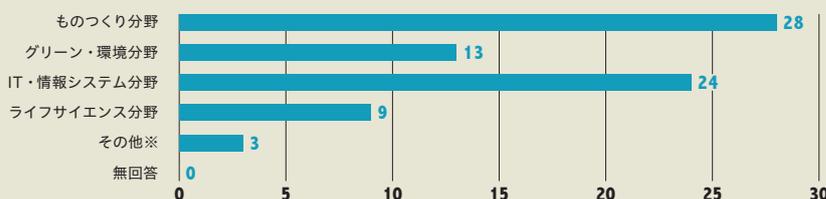
※講演者随行ほか

Q2 大学との連携に何を求めますか。(複数回答)



※社会課題解決へのプロジェクト企画、そのケーススタディ/課題解決型産学授業/包括連携による取組策の共有

Q3 研究会活動について、今後どのような分野の研究会があれば参画したいと思いますか。(複数回答)



※新しい産業構造の構築/農工商連携分野/MBSEやMBDの等のプロセス標準、グローバルスタンダードでのルール形成

>> 活動報告

Report

02

「埼玉大学産学官連携協議会研究会報告」

防災ビジネス研究会

代表：藤池 一誠（株式会社デサン・代表取締役社長） 事務局：田中 雅人（産学官連携コーディネーター）、山田 涼子

防災ビジネス研究会（会員企業11社、学内教職員4名）は、2019年度第1回研究会を7月22日（月）に埼玉大学にて開催しました。

第1回研究会では、常設デジタルサイネージを利用した避難誘導システム



第1回研究会

開発状況について、埼玉りそな銀行様さいたま新都心店での常設実験への準備状況報告や、山形沖地震・静岡地震におけるシステム発動時動画の紹介が行われました。システム発動時のカメラ映像からは、サイネージに注意を払っていない状況下でも、緊急地震速報発表時に当該システムの周辺に人員がいる場合、注意喚起に有効であると推察できました。表示コンテンツとして、これまで研究会で作成した実験動画や関連企業広告等を作成し、Webページ

への導入として活用していく方針です。

また今後の活動方針協議の中では、これまで個々の分科会で検討してきたテーマ同士もビジネス化に向けては全て関連しあっていることから、テーマで分けずに全体を通じ協議を行うものとなりました。

今後は、埼玉大学学園祭「むつめ祭」への出店と産学交流会「テクノカフェ」への参加機会等を活かし、防災意識の啓蒙、活動の周知、コンテンツの有効性を検証していくことを確認しました。

アブラヤシバイオマス利活用研究会

代表：高木 優（グリーンバイオ研究センター長・教授） 事務局：大久保 俊彦（産学官連携シニアコーディネーター）、日下 明美

本研究会2年目となる令和元年度は、11社の正会員のほか4賛助会員及び本学4教員が研究会メンバーとなり、第1回研究会を7月17日（水）に開催いたしました。高木・藤野両先生にアブラヤシプランテーションとパーム油産業の現状や問題点並びにアブラヤシ残渣バイオマス関連の研究開発状況に関しプレゼンいただき、今後の取り組み方法に関し参加者全員で協議しました。

SATREPS（地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム）への挑戦にあたっては、相手国を含めた体制構築と研究開発の方向性の明確化がポイントとなるため、現地の大学や政府と長年にわたり交流のあるタイを対象として進めることにしました。アブラヤシバイオマスの利活用方策をタイ国の政策と整合させていくこと、正会員の企業の皆さまとの連携により研究成果の社会実装を

実現可能なものとするなど、SATREPS挑戦の中からより有益な研究会となるよう取り組んでいます。



第1回研究会（プレゼンする高木本研究会代表）

AI時代の画像処理技術研究会

代表：島村 徹也（大学院理工学研究科・教授） 事務局：清原 一人（産学官連携コーディネーター）、日下 明美

本研究会は機械学習、ディープラーニングなどの高度情報処理が可能となってきた第3次人工



第1回研究会

知能ブームを背景に、情報・画像処理分野での保有技術を深化させ、社会および産業界のニーズに貢献することを目的として2018年に設立されました。2019年度は第一回目の研究会を7月8日（月）に研究機構棟7F大会議室において開催しました。埼玉大学から3件の事例報告、会員企業からはものづくりにおけるAIの活用について講演をいただきました。参加者は27名を数え、

活発な質疑応答を交わしました。講演会終了後の懇親会は参加者多数で急遽会場を変更する盛況となり、親睦を深めるとともに有意義な情報交換の場となりました。今後も会員企業のニーズを反映したセミナー等を開催していく予定にしております。皆様のご参加をお待ちしています。

「埼玉大学産学官連携協議会研究会報告」

創エネ・蓄エネ技術研究会

代表：白井 肇(大学院理工学研究科・教授) 事務局：清原 一人(産学官連携コーディネーター)、日下 明美

地 球規模での気候変動対策として再生可能エネルギーの活用が加速しています。本研究会は創エネ、蓄エネ分野での保有技術を深化させ、社会および産業界のニーズ解決に貢献することを目的に2018年度に設立されました。2019年は第一回研究会として、6月28日(金)に研究機構棟7F大会議室において講演会を開催しました。埼玉県産業技術総合センター、東京大学、東北大

学、弊学研究者に加え、会員企業からも講師をお招きし、6件の講演をいただきました。ペロブスカイト太陽電池と新規蓄電池の最新動向に加え、2019年度の目玉として太陽電池と蓄電池を使用した植物工場システムの実証実験の進捗について報告を頂きました。有用な情報が得られ、活発な質疑応答を交わしました。参加者は27名を数え、再生可能エネルギーに対する関心の高さがうか

がえしました。講演会後の懇親会でも貴重な情報を得ることができました。本研究会は今後もニーズにお応えし、セミナーや研究会を活性化していきます。



第1回研究会

AI活用研究会

代表：大久保 潤(情報メディア基盤センター・准教授) 事務局：笠谷 昌史(産学官連携シニアコーディネーター)、日下 明美

本 研究会は、所属する会員が将来的にわたり人工知能(AI)を活用した企業変革の最前線を走っていくために、AI・機械学習についての基本的な事項を幅広く知り、活用のための知見を深めることを目的として設立されました。6月6日(木)に本年度最初の研究会(通算で第3回目)を実施しました。

研究会は講演とケーススタディの2部構成でした。まず実際に深層学習を用いてシステム構築をしている企業の方をお招きし、具体的な案件に基づき、実際のシステム構築の際の注意点にまで触れた有意義なお話をいただきました。ケーススタディでは、参加企業2社様から日常業務等での課題およびデータなどについ

での題材提供をいただきました。その後、グループにわかれた議論および全体討論を通して、AIを活用しやすいところ、逆に活用しづらいところの知見を得て、AI活用に関する理解を深めました。

次回は9月19日(木)に講演およびケーススタディを実施します。



講演会



ケーススタディ

新規研究会テーマを
随時募集中です

埼玉大学産学官連携協議会では、本会会員および埼玉大学教職員等が協同し、研究会活動を行うことを支援しております。「具体的な技術課題解決への研究活動」から「研究課題の予備調査」、「公的研究費獲得による産学官連携共同研究のための先行研究」等にご活用いただけます。ご興味のある方は事務局までご連絡をお願いいたします。



会員企業訪問記

学生リポーター

奈良 健司

大学院理工学研究科
数理電子情報系専攻 2年

上田雄一郎、福島啓太、

河合湧暉、羽鳥晋可

工学部 電気電子システム

工学科 4年

「世界に通用する技術で未来を創出」
新たなモノづくりのステージへ

株式会社オリジン

COMPANY PROFILE



企業名：株式会社オリジン

所在地：埼玉県さいたま市桜区栄和3-3-27(本社事業所)

設立：1938年5月1日 資本金：6,103,252,996円

代表者：代表取締役社長 妹尾 一宏

事業内容：電源機器、半導体デバイス、精密機構部品、システム機器及び合成樹脂塗料の製造販売

Interview

01 概要

株式会社オリジンは1938年に前身である富士電炉工業として設立され、1952年に社名をオリジン電気株式会社に変更、2019年4月に現在の社名となりました。また、2015年には本社事業所をさいたま市桜区に移転し、さいたま市リーディングエッジ企業にも選ばれています。電源機器などのエレクトロニクス、システム機器などのメカトロニクス、合成樹脂塗料などのケミトロニクス、半導体デバイスや精密機器部品などのコンポーネントの4つの事業体制を構築し、時代のニーズを導く独創的な技術開発を行っている企業です。



景にある一方で、電気以外の事業にも注力し会社の躍進を目指す意思表示でもあります。



MYS(マイス)

同社は、さいたま市に本社事業所の移転を行うことにより、それまで別棟だった事業部が同じフロアに集結し、事業間で連携した技術開発が盛んに行われる環境になりました。2018年には各事業部から技術者を選出し、各事業部間や上下関係といった垣根を超えて組織横断的に研究開発を進める「MYS(マイス)」が発足しました。複数の事業の若手社員とベテラン社員との連携によるシナジー効果を加速させ、独創的・革新的な技術の開発に取り組んでいます。

ができたと感じております。この2つの変革やMYSなど、4事業体制という会社の強みを最大限に発揮していく、とのお話もあり、「技術のオリジン」を象徴するお言葉でした。

また、社員の方の人柄の良さも印象的でした。若手社員の方々からも、社員間の関係や福利厚生を含めて、働きやすい環境であると伺いました。業務においても、先輩社員のサポートの下、若手のうちから仕事を任せてもらえるとのことで、技術者としても成長できる社風であると感じました。



おわりに

今回の企業訪問で、複数事業による強みを学ぶことができました。また、役員の方々をはじめとした皆様には、気さくな雰囲気でも対応していただき、働きやすさ等も感じ取ることができました。

この度、お忙しい中にご対応していただいた関係者の皆様へ心より感謝を申し上げます。

Interview

02 TOPICS

社名変更

同社は、エレクトロニクス、メカトロニクス、ケミトロニクス、コンポーネントの4事業体制が特徴であり、自動車内外装塗料や無線基地局用電源のような日常で目にする製品から、スマートフォン製造装置や通信システム用電源など、目に見えないところでも私たちの暮らしを支える製品を供給しています。「オリジン電気」から「オリジン」への社名変更は、エレクトロニクス以外の事業の成長が背

Interview

03 学生目線

同社は2015年に本社の移転を、2019年に社名の変更を行い、この度は会社の転換期に企業訪問すること





会員企業訪問記

株式会社タムロン

「産業の眼を創造貢献する」
精密光学メーカー

学生リポーター

小室 凌

大学院理工学研究科 機械化学系専攻1年

齋藤 雅文、木之下 美佐紀、
樋山 篤慶、藤田 泰次郎、
山火 公貴

工学部 機械工学科4年

COMPANY PROFILE



企業名：株式会社タムロン
所在地：埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385
創業：1950年11月1日 資本金：69億23百万円
代表者：代表取締役社長 鯉坂 司郎
事業内容：総合光学機器製造及び販売

Interview

01 概要

株式会社タムロンは1950年に創業され、2020年に創業70年を迎える企業です。同社は世界光学工業界のトップを目指し、産業の眼を創造貢献するという経営理念のもと、高品質で多品種なレンズを製造しています。特にカメラ用レンズでは「EISAアワード」を14年連続受賞、さらに世界的に権威のある写真・映像関連製品の賞「TIPAアワード」を4年連続受賞するなど世界でも注目され、非常に高い評価を受けています。



た高い技術力によって実現されています。さらに国内だけでなく、中国、ベトナムの海外の工場と綿密に連携し、お客様のニーズに柔軟かつ迅速な対応を可能にしています。それと同時に多種多様な部品の品質管理を全工場で徹底することで高品質なレンズの製造を行っています。レンズ作製に用いられる金型は高速かつ高精度な加工で製造され、ガラスレンズの反射を大幅に抑制したコーティング技術であるeBANDコーティングなど独自開発された技術を駆使し、高品質なレンズとして世界中に届けられています。



広がる活用範囲

近年、さまざまな機器にカメラが実装されています。一眼レフカメラや防犯カメラのようななじみ深いものはもちろんのこと、機械の自動化に伴う検査用のカメラ、ドローンによる無人配送、災害救助など、更にカメラの活用範囲は拡大すると考えられます。レンズはカメラに必要不可欠であり、当社の強みが益々発揮されていきます。

Interview

02 TOPICS

一貫した事業体制

同社は開発から販売までを一貫して行っている世界でも数少ないレンズメーカーです。一貫した事業体制は卓越し



Interview

03 学生目線

企業訪問を通して、社員のみなさんがお客様のニーズに答えるためにどうすべきかを第一に考えていると感じました。そのためにどのような技術を取り入れるべきか、何を变えるべきかを考え、行動に移すという貪欲な姿勢が同社の高品質なレンズの作製につながっていると感じました。

また、本社の敷地内に「タムロンキッズ保育園」が設置されており、社員の育児支援が行われていることや、原則残業禁止など非常に働きやすい環境が整っていると感じました。



おわりに

今回の企業訪問では、高品質なレンズを製造するための高い技術力、さらには徹底した品質管理の現場を実際に見学させていただき、社員の皆様にはお忙しい中時間を割いていただきました。私たちの質問にも丁寧に答えていただき、大変貴重な経験をすることができました。心より感謝申し上げます。

埼玉大学産学官連携協議会

新会員紹介

DATA ▶▶

①事業内容 ②本社所在地 ③電話

④設立年月日 ⑤代表 ⑥社是またはモットー

01 計測エンジニアリングシステム株式会社

私共計測エンジニアリングシステムは、製品設計開発プロセスにおける計測・制御・シミュレーション分野において顧客ニーズに最適かつ最新のテクノロジーを用いたシステムソリューションを提供する「総合エンジニアリング企業」を目指しており、基礎研究・開発・設計・製造・検査工程に関連する製品・システム開発やサービスをご提供いたします。

- ①電子計測制御装置の開発、製造、販売及びシミュレーションソフト(COMSOL Multiphysics)販売、保守
- ②東京都千代田区内神田1-9-5 SF内神田ビル
- ③03-5282-7040
- ④2001年(平成13年)2月5日
- ⑤代表取締役社長 岡田 求
- ⑥「顧客感動(Customer Delight = CD)」の概念を常に念頭に置き、「ものづくり」に携わる全てのお客様のお手伝いをいたします。



02 株式会社弘輝

はんだ付業界で55年の歴史、優れた技術でソルダペーストを主力にはんだ付電子材料の開発、製造、販売および技術サポートを行っています。現在鉛フリー関連を中心に、従来型高性能はんだ付材料ほか、ハロゲンフリーフラックス、高強度あるいは低融点合金といった次世代はんだ付技術への取り組みを積極的に進めております。

- ①はんだ付関連電子材料の製造販売
- ②東京都足立区千住旭町32-1
- ③03-5244-1511
- ④1964年(昭和39年)4月1日
- ⑤代表取締役 伊藤 学
- ⑥全員参加による熱意と活力と創造力あふれる企業風土を育み、絶えざる成長を通じて社員の物心両面の幸福を追求する。



取扱い製品群

03 MTアクアポリマー株式会社

私達MTアクアポリマー株式会社は、三井アクアポリマー(株)と東亜合成(株)凝集剤事業部との合弁企業で2006年10月に発足致しました。両社の長年培ってきた高分子製造技術による高品質の薬剤を提供するとともに、多種多様な廃水に最適な薬剤を選定する技術サービスを提供し、お客様には最適なソリューションをご提供し続けます。

- ①高分子凝集剤を中心とした水処理薬品の製造販売
- ②東京都千代田区鍛冶町2-6-2 上野ビル3階
- ③03-6206-4507
- ④2006年(平成18年)10月1日
- ⑤代表取締役社長 鹿間 敏
- ⑥“地球上のすべての生命の為に、美しい水をまもりたい”



弊社高分子凝集剤を用いたインドネシア食品工場廃水の脱水

04 東京電設サービス株式会社

東京電力パワーグリッド(株)の技術を一般に提供できる会社として、電気設備はもとより、土木・コンクリート構造物、橋梁、鉄塔、再生エネルギーなど社会インフラ設備を対象に、コンサルティング、設計、工事施工、点検・診断及び人財育成まで幅広いサービスを展開しております。

- ①建設業、電気工事業
- ②東京都台東区東上野6-2-1 MR東上野
- ③03-6371-3000
- ④1979年(昭和54年)
- ⑤取締役社長 手島 康博
- ⑥社会インフラ設備のグローバル・エンジニアリング企業、TDS



人財・技術開発センター外観

05 三共木工株式会社

当社は地元埼玉で地域に密着、100年の歴史ある会社です。段ボール製造販売業を中心に11の事業を展開しており、「地域の皆様に愛される会社」「従業員が明るく楽しく働ける会社」を目指しております。時代に合わせて事業を創出する三共独自のスキームを武器に、只今新規事業として農業にチャレンジしております。

- ①ダンボール製品製造・販売 その他の包装資材販売
- ②埼玉県川越市大字今福2776-2
- ③049-243-4011
- ④1946年(昭和21年)3月
- ⑤代表取締役社長 森田 繁子
- ⑥勤労・勤勉・誠実



6 一般社団法人埼玉ニュービジネス協議会

本会は、埼玉県内に事業拠点を置き、経済・社会構造の変化や技術革新に対応しつつ、高成長を遂げている各種のニュービジネス企業家(起業)会員の相互の啓発や連携及び交流を促進することで、新たなニュービジネスの振興を図っています。

- ①企業相互の情報交換の場やビジネスマッチング、勉強会の実施、販路拡大の為の情報提供
②埼玉県さいたま市中央区下落合6-18-7
③048-855-1587
④2010年(平成22年)5月15日
⑤会長 平沼 大二郎



通常総会の模様

7 株式会社協同商事

「日本の農業に貢献する」という想いから設立された当社では、農産物の栽培から、物流、販売、食品への加工を含め、農産物が消費されるまでの全ての過程を、農業の一環と考え、有機栽培青果物栽培指導・加工・販売、物流、ビール製造、廃棄物リサイクルと、農業を出発点とする食のサイクルすべてに関与する活動をさせていただいております。

- ①COEDOビール製造販売、有機栽培青果物・花き卸売、物流事業
②埼玉県川越市中台南2-20-1
③049-244-6911
④1982年(昭和57年)8月10日
⑤代表取締役 朝霧 重治
⑥新しい日本を切り拓く



クラフトビールCOEDO

新規会員をご紹介ください

- 埼玉大学産学官連携協議会入会メリット -

研究会活動に参加できます

「防災ビジネス研究会」
「アブラヤシバイオマス利活用研究会」
「AI時代の画像処理技術研究会」
「創エネ・畜エネ技術研究会」
「AI活用研究会」が活動中です。
新規研究会テーマも募集中です。



産学交流会(テクノカフェ)に参加できます

大学・企業等の最先端の研究成果や技術紹介と、大学と企業等のマッチング等をおこなうオープンイノベーションの場を提供します。(10月29日予定)



埼玉大学生採用のチャンスがあります

会員企業が埼玉大学の学生・留学生に対して魅力発信する機会
学内合同企業説明会に参加できます。
<年1回>
(2020年3月予定)



埼玉大学科学分析支援センターが活用できます

大型分析機器を多数保有する科学分析支援センターでの依頼分析を、協議会会員料金(規定1/2)でご利用いただけます。(随時)



最新情報をお届けします

- ・ニュースレター(年2回発行)
- ・インフォメーションメール配信会員企業・団体に有益な情報や研究シーズ紹介、会員企業紹介、イベント情報等を提供します。



お問合せはこちらまで

埼玉大学産学官連携協議会事務局

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
(オープンイノベーションセンター内)

電話:(048)714-2001 Fax:(048)858-9419

E-mail: coic-jimu@ml.saitama-u.ac.jp

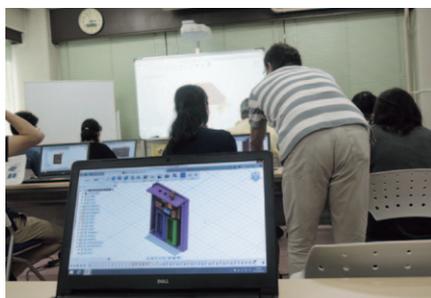
URL: http://www.saitama-u.ac.jp/coalition/kyougi/kyougi_about/

Report

03

「3D-CAD&3Dプリンター研修(さいたま市連携事業)」を実施

本年度も「3D-CAD&3Dプリンター無料研修」を、さいたま市と連携し「ものづくり支援事業」として実施しております。本研修では3D-CADとして、無償体験が可能なFusion360とミッドレンジのSolidworksを使用し、昨年同様Fusion360の入門、実用及び応用の3コースを、Solidworks



研修風景

は入門コースを各4回設けました。また新たに3D画像合成コースを4回設け、画像合成ソフトによる3Dデータ作成の研修を行いました。

近年になってラピッドプロダクトのツールとして3Dプリンターだけでなく安価なNC加工機が登場しています。これらを導入し活用するには、3D-CADの操作だけでなく、3Dデータを3Dプリンター用に変換する手法やCAMによるNCデータ作成を習得する必要があります。このような理由から、本研修では、Fusion360入門、実用及び応用コースで3D-CAD 操作の基礎及び実用からCADデータの

取扱いやデータ変換方法、CAE機能としてFEM及びトポロジー最適化を取り上げるとともにCAM機能によるNC加工機用データ作成も行いました。

本研修を受講いただければ、3D-CADの設計ツールとしての機能だけでなく、設計、製造、営業及び販売などの各部門を繋ぐコミュニケーション・ツールとしての機能を活用できると考えます。実際に、機械だけでなく電気・電子、化学、建設・土木、情報・CAD、医療及びデザイン関係の各業務の方々が参加されていますので、多種多様な業界及び業務の方からの受講をお待ちしています。

Report

04

「イノベーション・ジャパン2019～大学見本市&ビジネスマッチング～」に出展

2019年8月29日(木)～30日(金)東京ビッグサイト(東京国際展示場)青海展示棟Bホールにおいて、「イノベーション・ジャパン2019～大学見本市&ビジネスマッチング～」が開催されました。このイベントは、大学、ベンチャー・中小企業が展示・発表を行う国内最大規模のビジネスマッチングイベントで、今年も約15,000名の来場者で賑わっていました。

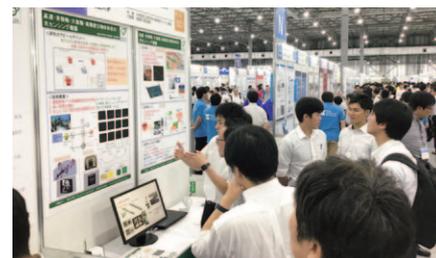
約400名の大学の研究者が出展した中で、本学からは3名の教員が

研究成果を展示するとともにショートプレゼンを行いました。



プレゼンテーション風景

展示ブースでは、名刺交換とともに研究内容について質問する来訪者の姿も見られ、今後の発展が期待されます。



埼玉大学ブース

また、NEDOゾーンでは埼玉大学発ベンチャー企業として活躍中の株式会社Epsilon Molecular Engineering(代表:根本直人教授)が出展を行いました。

出展教員

分野別

塩田 達俊 准教授	装置・デバイス	高速・非接触・大面積・高精度な物体形状の光センシング機器
稲田 優貴 助教	装置・デバイス	プラズマの見える化技術
松岡 浩司 教授	ライフサイエンス	ペプチドアプタマーによるがんマーカー検出技術開発

大学取組紹介

埼玉大学学務部学生支援課「就職支援担当」の活動状況

(関連) 埼玉大学統合キャリアセンター SU | <http://park.saitama-u.ac.jp/~supportsyuusyoku/>

現代はインターネットで簡単に情報を得ることができ、個人で就活を進める学生がいる一方、溢れる情報や先入観に流されてしまい、主体性が発揮できず、情報のとおりに進めても上手くいかないことで悩む学生も多くいます。学生を取り巻く情報技術の進化や、経済環境等の変化に伴い、学生の就活への意識や考え方も絶えず変化しています。

その中で、大学の「就職支援」としての役割は、学生と信頼関係を構築し、学生主体の就職活動であることを伝え、卒業後に社会で活躍するイメージを持って就活ができるように支援することであると認識し、学生が安心して気軽に相談できるための環境作りに努めています。

まず、埼玉大学独自の支援としてLINE@での就職支援を行っています。LINE@は情報発信だけでなく、個別相談の役割も果たしています。2019年8月時点で現役学生3,000名以上の登録があり、うち1,300名ほどは学部3年生と大学院1年生です。LINE@で気軽に相談を利用し、信頼してもらうことで対面の相談まで繋がる事が多く、学生がよく知っていて、気持ちよく利用できるツールとして効果は高いものになっています。

次に、就職支援の根幹である対面での相談を、相談時間を要する相談と、文書添削・面接練習なども含めた比較的軽易なアドバイスに大別し、就職カウンセラー、就活アドバイザーがそれぞれ学生のニーズに応じて対応しています。相談予約はweb化され、いつでも予約出来るように利便性を図っ

ています。担当するカウンセラー・アドバイザーの名前を表示させることで、学生は希望に応じた人を選んで相談できます。その結果、昨年度の実績としては、約760名の学生が利用しています。



セミナー開催の様子

また、開催しているセミナー類のイベントは、毎回就職カウンセラーと共に企画し開催しており、業界を代表する企業の人事担当者や、先輩内定者のディスカッション方式のセミナー等により学内で多くの業界を多角的に知る機会を提供しています。さらに埼玉大学ならではの特色を活かした説明会も開催しています(NewsLetter#50)。

今後は、OBOG在籍企業や埼玉大学の取組に共感いただいた企業等の皆様ご協力いただき、学生と繋がる機会の充実を図ります。実際に働いている方と学生双方のデータを用いて、学生が自身の特性をどのように社会で活かすことができるかを一緒に考えるセミナー等、就職活動を取り巻く環境の変化を鑑み、学内外の関係者と相談・協力し、学生が就職後も活躍することにつながる取組を企画・実施してまいります。

(文：学生支援課就職支援担当 木下係長)

2019年度就職・キャリア支援セミナー等実施計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
19.26 前期オリエンテーション	17.31 インターンシップについての考え方から就活を始めるための考え方	6.7 仕事探しセミナー インターンシップ紹介セミナー				10月 スライムの選び方・マナー講座 後期から就活を始めるための考え方 他	11月 文理専攻セミナー(就活の準備) 自己探求セミナー	12月 留学生向けセミナー インターンシップ紹介セミナー	1月 面接・自己探求セミナー インターンシップ紹介セミナー	2月 面接指導講座(後期) 面接指導セミナー(前期) 業界研究セミナー	3月 企業説明会 就職ガイダンス(1日) 企業説明会 就職ガイダンス(2日) 企業説明会 就職ガイダンス(3日)
<p>一原則 木曜日・金曜日の昼休み 他学生の希望により随時開催「就職支援 キャリアCafe@就職支援室」 就職支援室にて学生の疑問に応じたイベントを開催します。 先輩内定者との勉強会、OBOG・社会人との勉強会、マナー実践練習、自己理解ワーク、先輩との勉強会、業界研究グループワーク、模擬面接・グループディスカッション、など</p> <p>一木曜日・金曜日3限 長所発見テストを活用して企業・業界研究— 企業の知名度で会社を選んでいいの？自分の特性が活かせる会社とは？ 自分の特性をどのように社会で生かせるか。 学生と企業の人それぞれが就職を持ち寄り両勝！ 企業のマッチングに必要な情報を知る場として役立てよう！</p>											
<p>学部3年・修士1年スケジュール</p> <p>個別相談 (月～金、10:00-17:00) アドバイザーとカウンセラーの2種類があります。相談内容に応じて個別に相談できます。お気軽に足を運んでみてください。予約はネットからできます。お問い合わせは埼玉大学キャリア支援LINEで！</p> <p>卒業年度スケジュール</p> <p>求人フェア— 増大生積極採用の企業の求人を紹介するイベントです。学生の要望に応じて不定期で開催します。</p> <p>エントリー・プレエントリー → 筆記試験・適性検査受験、エントリーシート等 提出</p> <p>面接試験等</p> <p>会社説明会 → 内々定(10/1以内定を出すという通知) → 内定(4/1から採用するという通知)</p>											

年間の支援予定

2019年度 オープンイノベーションセンター

産学官連携活動カレンダー (予定表)

月 日	イベント	場 所
16(水)	埼玉大学先端産業国際ラボラトリー オープンラボ2019	埼玉大学
17(木) ~ 18(金)	3D-CAD&3Dプリンター無料研修 入門Fコース	埼玉大学
10 24(木) ~ 25(金)	3D-CAD&3Dプリンター無料研修 実用Fコース	埼玉大学
29(火)	第20回埼玉大学産学交流会 テクノカフェ	埼玉大学
31(木) ~ 10/1(金)	3D-CAD&3Dプリンター無料研修 応用Fコース	埼玉大学
1(金) ~ 3(日)	第69回埼玉大学むつめ祭	埼玉大学
14(木) ~ 15(金)	3D-CAD&3Dプリンター無料研修 入門SWコース	埼玉大学
11 18(月) ~ 21(木)	MEDICA 2019	Messe Düsseldorf (Düsseldorf, Germany)
13(水) ~ 14(木)	BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展2019	ソニックシティ
21(木) ~ 22(金)	3D-CAD&3Dプリンター無料研修 3D合成コース	埼玉大学
	“地方創生”SDGs体験学習セミナー	埼玉大学
12	第5回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会(予定)	埼玉大学
16(木) ~ 17(金)	3D-CAD&3Dプリンター無料研修 入門Fコース	埼玉大学
23(木) ~ 24(金)	3D-CAD&3Dプリンター無料研修 実用Fコース	埼玉大学
1 29(水) ~ 30(木)	彩の国ビジネスアリーナ2020(産学連携フェア)	さいたまスーパーアリーナ
30(木) ~ 31(金)	3D-CAD&3Dプリンター無料研修 応用Fコース	埼玉大学
2 13(木) ~ 14(金)	3D-CAD&3Dプリンター無料研修 入門SWコース	埼玉大学
20(木) ~ 21(金)	3D-CAD&3Dプリンター無料研修 3D合成コース	埼玉大学
3 1(日) ~ 5(木)	学内合同企業説明会	埼玉大学
	第6回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会(予定)	埼玉大学

★埼玉大学産学官連携協議会関連事業

埼玉大学産学官交流会

第20回 テクノカフェ

埼玉大学産学交流会テクノカフェを開催いたします。
多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時	▶ 2019年 10月29日 (火) 13:30 ~ 18:00 (予定)
会 場	▶ 埼玉大学総合研究棟シアター教室 ほか
第1部	▶ 大学研究シーズのご紹介：大学教員研究成果等の事例発表
第2部	▶ 講演会：SDGsへの取組、産学官連携事例発表、「埼玉大学研究マップ」紹介
交流会(懇親会)	▶ 於 埼玉大学生協第2食堂パーティースペース 会費1,000円(予定)
お申込み	▶ http://www.saitama-u.ac.jp/coalition/topics/techno2019.html

発行
埼玉大学産学官連携協議会

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学オープンイノベーションセンター (COIC)内
TEL : 048-714-2001 FAX : 048-858-9419 E-mail : coic-jimu@ml.saitama-u.ac.jp
URL : http://www.saitama-u.ac.jp/coalition/kyougi/kyougi_about/